20年を迎えた



TEA(複線径路等至性アプローチ);

その広がりと可能性

TEA(複線経路等至性アプローチ)はプロセスを扱い、人生経路の実存を記述する質的研究法です。この手法は立命館大学人間科学研究所で提案されてから20年を迎えたもので、現在ではさまざまな学問分野の知識生産に活用されています。今年度の年次総会では国内外から様々な研究者をお迎えし、TEAの広がりを振り返り将来を展望したいと思います。

第1部の講演では、ヴァルシナー教授、ワツラウィック教授、サトウタツヤ教授による3本の講演を予定しており、お三方の講演を受けて、第3部のパネルディスカッションでは、様々な学問分野で活用されているTEAの紹介いただきながら、TEAの有用性や広がりについて議論します。

研究者、大学院生、学部生に至るまで、人間科学や対人援助における最新の研究潮流に関心をお持ちの方々の積極的なご参加をお待ちしております。

2023年1月28日 生 11:00-16:45

立命館大学いばらきフューチャープラザ1F カンファレンスホールおよびイベントホール

(大阪府茨木市岩倉町2-150 JR茨木駅より徒歩5分)

参加 要事前 無料 申込

開会挨拶 11:00-11:05

矢藤 優子 (立命館大学人間科学研究所所長/総合心理学部教授)

祝辞 11:05-11:15

仲谷 善雄(立命館大学学長/学校法人立命館総長)

第1部 11:15-12:30

【基調講演】(会場:カンファレンスホール)

講演①

GROWING UP WITHIN TEA: 20 YEARS FROM A PERSONAL ANGLE Jaan Valsiner (Aalborg University; Denmark)

講演②

「Collective narratives: A closer look at social dominance and guidance」

Meike Watzlawik (Sigmund Freud University; Berlin Germany)

講演③

「TEAが質的探究の方法論に与えた影響とは何か?」 サトウ タツヤ(立命館大学総合心理学部教授)

第2部 12:45-14:15

【ポスターセッション】(会場:イベントホール)

※発表者・演題・抄録は人間科学研究所HPで掲載いたします。

申し込み方法

「現地会場」と「オンライン」の同時開催

※オンラインで参加の場合は、第1部、第3部のみの配信となります。

お申込み締切:会場参加は2023年1月25日

▶人間科学研究所HPかQRコードからお申し込みください。 https://www.ritsumeihuman.com/news/20230128/ ※情報保障・託児所をご希望の場合は、申込時にその旨ご連絡をお願いいたします



筆3部

14:30-16:40(休憩15:15-15:30)

【パネルディスカッション】(会場:カンファレンスホール)

〜誕生から20年を迎えたTEA(複線径路等至性アプローチ)の広がり〜 【司会】木戸 彩恵 (関西大学文学部准教授)

<研究報告>

「保育者の専門性発達を支える:保育研究におけるTEA」 中坪 史典(広島大学大学院人間社会科学研究科教授)

「職業人生50年時代のキャリア設計:TEAで捉えるキャリア発達における転機と充実」 豊田 香(拓殖大学別科特任講師)

「越境する人とその支援者の発達を支える:応用言語学におけるTEA」 北出 慶子(立命館大学文学部教授)

<指定討論>

Jaan Valsiner (Aalborg University)

Meike Watzlawik (Sigmund Freud University)

■パネリスト

Jaan Valsiner、Meike Watzlawik、中坪 史典、豊田 香、北出 慶子

閉会挨拶 16:40-16:45

稲葉 光行(立命館大学研究部長/政策科学部教授)

【総合司会】

安田 裕子 (立命館大学総合心理学部教授)

主催:立命館大学人間科学研究所

共催: 立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO) 記号創発システム科学創成一実 世界人工知能と次世代共生社会の学術融合研究拠点一第4グループ「記号論的文化心理学 の理論深化と次世代共生環境デザイン」、立命館大学ものづくり質的研究センター

協賛:TEAと質的探究学会

20年を迎えたTEA(複線径路等至性アプローチ);その広がりと可能性

登壇者紹介



Jaan Valsiner

Jaan Valsiner, born in Tallinn, Estonia, is a cultural psychologist with a consistently developmental axiomatic base that is brought to analyses of any psychological or social phenomena. He is the co-creator with Tatsuya Sato of the Trajectory Equifinality Model back in 2004 and continues to actively prmote its uses in psychological methodology



Meike Watzlawik

Meike Watzlawik is a professor for Developmental, Cultural, and Educational Psychology at the Sigmund Freud University Berlin (SFU), Germany. She is the head of the Psychology Department and the head of the Master's Program in Clinical Psychology. Major research projects of hers focused on sexual identity development in adolescence (Ph.D.), sibling relationships and their impact on identity development (Habilitation) as well as identity development in non-traditional families (Feodor-Lynen-Scholarship USA). Recent publications are the Cambridge Handbook of Identity (2021, with Michael Bamberg & Carolin Demuth) and Courageous Methods in Cultural Psychology (2022, with Ska Salden).



サトウタツヤ

立命館大学総合心理学部教授。東京都立大学・同大学院を経て同大助手。1994年福島大学行政社会学部助教授。2001年立命館大学文学部心理学科助教授などを経て、06年から現職。博士(文学)。専攻は応用社会心理学・心理学史。著書に『通史 日本の心理学』『オールザット血液型』(共著)、『カタログ 現場心理学』(共編著)、『心理学論の誕生』(共著)、『IQを問う』など多数



中坪 史典 (なかつぼ ふみのり)

広島大学助手(教育学部)、琉球大学助教授(教育学部)、明星(めいせい)大学助教授(人文学部)を経て、2007年10月より、広島大学大学院教育学研究科准教授。現在、広島大学大学院人間社会科学研究科教授。広島大学大学院人間社会科学研究科附属幼年教育研究施設・施設長



豊田 香 (とよだ かおり)

拓殖大学別科特任講師。TEAと質的探究学会副編集長、日本社会教育学会国際交流幹事等を務める。専門は質的研究法、成人教育・学習(社会人大学院教育、人材育成、キャリア発達、外国人留学生教育)。近著に『社会人大学院がひらく科学的知識創造ートリプルループ学習理論』(新曜社、2022年)、"Case Study: An Educational Dialogical Approach to the Development of New Future I-positions as Promoter Positions for University Students: Theory, Practice, and Outcomes"(国際学会ISDS (International Society for Dialogical Science), e-book "DIALOGICALITY" 2021)など、TEA関連の著書を多数発表。



北出慶子 (きたでけいこ)

立命館大学文学部・言語教育情報研究科教授。専門は、応用言語学、言語教育、日本語教師教育、多文化間コミュニケーション。 近著に『ナラティブでひらく言語教育』(新曜社)など。



木戸 彩恵 (きど あやえ)

関西大学文学部准教授。専門は文化心理学。近年はTEAにおけるイマジネーションに着目し,方法論的な観点から研究を進めている。 近著に「文化心理学ー理論・各論・方法論」(ちとせプレス)など。



アクセス

立命館大学大阪いばらきキャンパス

- ▶ JR 「茨木駅」下車、東口より 徒歩約5分
- ▶ 阪急電車「南茨木駅」下車、改札を出て左へ、 高架沿いに 徒歩約10分
- ▶大阪モノレール「宇野辺駅」下車 徒歩約7分
- ■ご来館の際は、マスクの着用および検温、手指消毒のご協力をお願いします。
- ■37.5℃以上の発熱や、体調がすぐれない方の参加はご遠慮ください。
- ■今後の感染状況により、中止または延期の可能性がございます。

主催・お問い合わせ先

立命館大学人間科学研究所

TEL 075-465-8358 FAX 075-465-8245 E-mail ningen@st.ritsumei.ac.jp

ご来場には公共交通機関を ご利用ください

- * 専用駐輪場がございませんので自転車・バイクでのご来場もご遠慮ください。
- * キャンパス内は全面禁煙です。
- * メイン会場の席数には限りがございます。 (139名)